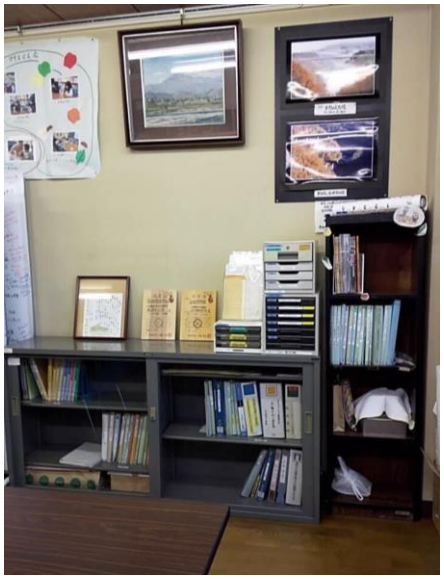
各戸配布

川路まちづくり役員会便り　第１４号

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！　２０２１年（令和３年）１１月２日

７区のタウンミーティング会場（２１人参加）

１０月２５日の８区をもって、タウンミーティング全日程を終了する事が出来ました。議事録は現在作成中で、近々各区長さんにお配りしますので、必要な方はご確認をお願い致します。皆さんからいただいたご意見のポイントをご紹介いたします。今回のタウンミーティングの出席者は例年に比べて少し少なかったですが、少人数の為気楽に話が出来、有意義な懇談会となりました。今回里山管理組合のたたき台をご提案させて頂きましたが、「とても重要であり、強力に進めて欲しい！」「里山に栗の木を５０本位植えて、地区民が栗拾いをして、楽しめる様にするのも如何か？」との感想を数多く頂きました。但し、「里山整備作業に肉体奉仕を期待されても、限界は有るので、十分考慮して頂きたい。」「たたき台との事であるが、今後本格的に検討を進める際は、検討委員に地権者を加えて欲しい。」等のご意見を頂きました。本件は、早急に地権者の方もメンバーになって頂いて、「里山管理組合設立検討委員会」を立上げ、検討して参ります。他に「公民館に喫茶室を作って欲しい。」との要望を頂きました。気軽に立ち寄り、コーヒーでも飲みながらまちづくりの事を話し合える場が大切とのご提案です。早々役員で話し合い、「サロンまちづくり」と名付けて、１１月１０日に第１回目を開催することになりました。川路公民館の小会議室で１０時から昼頃まで行います。状況を見ながら回数を増やして、若い方にも参加して頂ける様に、土日も計画したいと考えております。早速小会議室を片付けて皆様をお迎えする準備も整いました。是非お出掛け下さい。他に「今の会議は年寄りが多く、若い人の参加が少ない。次代を担う１０代、２０代の若者を色々な会合に入れて、育てて行かないとダメ！ 若い人が意見を言える雰囲気を作ることが大切。お勤めの人は“俺たちは関係ない！”という雰囲気がある。」 「運動会等に老人を含めた地域全員が参加していく為の工夫が必要。」等のご意見を頂きました。ご意見を念頭に置き今後のまちづくりの活動を進めて参ります。


整理されたサロンまちづくり会場

川路公民館に Wi-Fi が入りました

スマートフォンの普及は目覚ましいものがありますが、インターネットを利用する場合、無料で利用可能な Wi-Fi と通信費が有料となる携帯電話回線（４Ｇ等）が有ります。川路公民館にインターネット接続用の Wi-Fi を設置して欲しいとの要望を前々から頂いておりましたが、ようやくこのほど Wi-Fi を設置する事が出来ました。「Buffalo-FD80」を選んで頂き、パスワード「hbvtnd3u7xvra」を入れて頂ければ、どなたでも利用が可能です。川路公民館で高速且つ無料な Wi-Fi 環境をお楽しみ下さい。

「天龍峡マルシェ」大盛況でした

１０月２４日秋晴れの中、天龍峡マルシェが盛大に開催されました。コロナで行事が軒並み中止される中、久々の催しとなり、大勢の人でにぎわいました。主催者発表では約１万５千人の人出との事です。クラフト市が９０軒、テント市が３０軒の出店と、年々規模が拡大してきており、天龍峡の秋の催しとして定着して来たと思われます。龍江の「アウトドアフェスティバル」と同時開催となった為、警備の人数が足りず、川路まちづくりの安全推進委員、各区の交通安全担当者、及び天龍峡アヴニール倶楽部の皆さんに特段のご協力を頂きました。有難うございました。

中央駐車場でのけん玉大会とクラフト市

子供に大人気のミニＳＬ乗車

天龍峡龍神の舞も華を添えてくれました

川路へ帰ろうプロジェクト、川路を送ろうプロジェクト

「川路へ帰ろうプロジェクト」は川路出身の皆さんに、ふるさとの最近の情報をお届けし、川路との絆を保ち、将来Ｕターンして帰って来て頂くプロジェクトですが、１０月１８日に１８４人の川路出身の皆さんにお便りをお送りしました。「川路まちづくり委員会からお便りが届いたよ！」と電話で反応が有りましたでしょうか？早々川路地区宛の「ふるさと納税」を数件受け取りました。又故郷の「心と味」を送ろうキャンペーンを１１月末まで実施中です。コロナ禍で帰省できない川路出身の皆さんに、川路の農産物等を、川路まちづくり委員会が送料を負担しお送りするプロジェクト　ですが、現在４１世帯のご利用が有りました。なかなか帰れない子供さんたちに是非リンゴ等を送ってあげて下さい。

鷲流峡プロジェクトの川路展開

突然変異の七区のドーム菊
（赤の中に半分黄色の花びら）
自然は時として驚く進化をします

皆さんは鷲流峡プロジェクトをご存じでしょうか？舟下りの船頭さんが天竜川から竜丘ホッキの竹やぶを眺め、あまりの汚さに立ち上がり、竹やぶの整備、伐採した竹から作った「しなちく」の販売、埋もれていた桜のライトアップ等々を竜丘の小学生、地域住民を動かして美しい竹林に変えたプロジェクトです。全国的にも有名で、学生達のボランティア組織も応援しているそうです。竜丘地区の整備がほぼ軌道に乗り、本年度から対象を広く飯伊全域に広げて「いなだに竹 Links」という名の NPO 法人を立上げ活動を開始しているそうです。今回「川路の竹林整備を一緒にやりませんか？」と１０月２７日に代表の方が説明に来て下さいました。竹藪は放っておくと、どんどん広がり、山林を侵食してしまう恐ろしい面もあり、事実九州では全山竹藪になってしまった地域が沢山あるそうです。天龍峡大橋下の天竜川河畔の里山も今危険な状況にあるそうです。川路の竹林整備を里山管理の一つと位置付けて「里山管理組合」と一緒に検討して参りたいと考えております。この役員会便りの紙面を通じて状況を適時ご報告して参ります。